

金融市場NOW

日本の工作機械受注 3カ月連続マイナス

中国向け受注の低迷が影響か

- 2018年12月の工作機械受注額が前年同月比で18.3%減となる。マイナスは3カ月連続。
- 最大の市場である中国の失速が主な要因か。米中貿易摩擦と生産過剰の反動による緊縮策などが影響。
- 中国の低迷は、いずれ先進国等にも波及すると見られ今後についても注意が必要か。

日本工作機械工業会が1月30日に公表した2018年12月の工作機械*受注額（確報値）が前年同月比（以下同様）で18.3%減の1,355億2,200万円となり、2018年10月から3カ月連続で前年を下回りました（図表1）。長引く米中貿易摩擦を背景に、企業の投資を控える動きは継続しています。

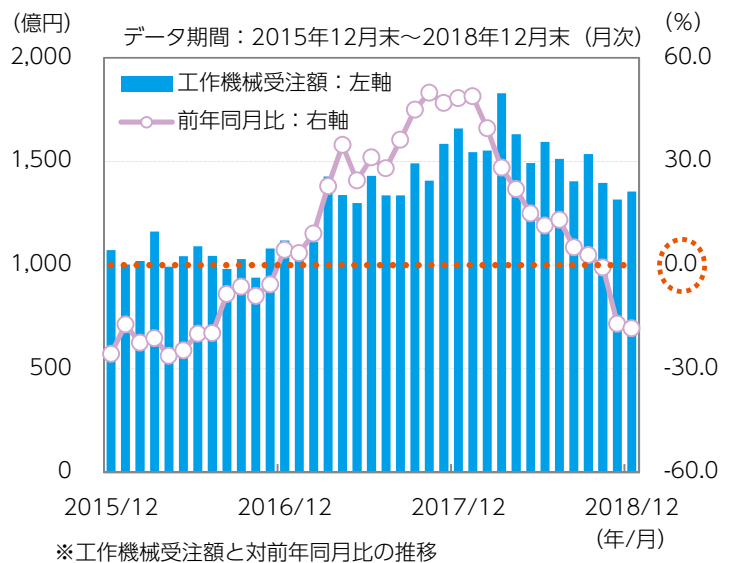
*工作機械は「機械を作る機械」「マザーマシン(母なる機械)」とも言われます。一般的には「切削、研削、せん断、鍛造、圧延等により金属、木材、その他の材料を有用な形にする機械」と定義されます。

特に、最大の市場である中国の失速が目立ちます（図表2）。スマートフォンなどの電気・精密向けの受注が前年同月比で大幅に減少となり、また、一般機械向けの受注も同様に落ち込みました。中国景気の減速にともなうスマートフォン需要の低迷や長引く米中貿易摩擦の影響に加え、これまでの生産過剰の反動による緊縮策などが要因とみられます。

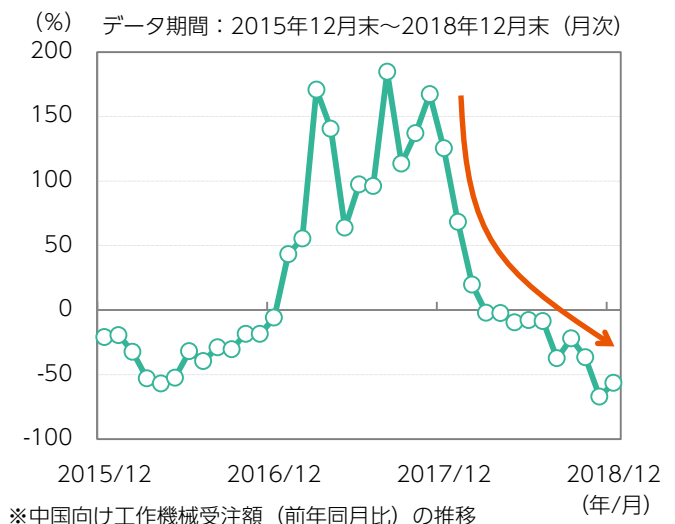
中国市場の低迷は、これまで好調であった内需にも影を落とし始めているようです。内需は同9.8%減の571億5,200万円となり、2017年1月以来23カ月ぶりに前年実績を下回りました。引き続き人手不足を背景とした自動化や効率化、技術革新等への関心は強いものの、世界景気に対する懸念は根強く、特に、一般機械向けは21.3%減の214億5,300万円と、2018年の単月の受注額では最低となりました。

中国や内需が失速する一方で、米国向けは好調となりました。2018年12月の受注額は8.7%増の245億9,500万円となり、前年比で23カ月連続のプラスとなりました。トランプ政権による大型減税が功を奏し、企業が設備投資に積極的であったとみられています。

図表1：工作機械受注額は減少している



図表2：最大の市場である中国の減速が目立つ



2018年年間での受注額は2年連続で過去最高額を更新しました。しかし、世界最大の市場である中国の低迷はいずれ先進国等にも波及するとみられ、今後についても、予断は許さず注視していく必要があります。

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>